

区立スケートボードパークの整備について

東京2020大会を契機として、スケートボード競技に対する人気の高まりを逃すことなく、区がスケートボードパークを整備することで、区民の誰もが安心して楽しめる環境を整える。

1 背景

- ・本区出身の堀米雄斗選手が金メダルを受賞するなど、関心が高まっている。
- ・区内にスケートボードを楽しめる場所が少ない（区立公園などは原則禁止）。
- ・有明アークスポーツパークが東京2020大会のレガシーとして残された場合でも難易度が高く、上級者向けと想定される。

2 目的

施設を整備し、スケートボード教室の開催やマナー啓発に取り組むことで、スポーツとしてのスケートボードの認知度アップを図るとともに、東京2020大会のレガシーとして競技者のすそ野を広げ、今後の発展につなげていく。

3 内容

(1) 施設概要

場所：夢の島総合運動場内（夢の島一丁目）

面積：約2,000㎡～2,500㎡程度

(2) コンセプト

こどもから大人まで誰もが安心して楽しめる初中級者向けの施設とする。

(3) 事業スケジュール（予定）

令和3年12月中旬	測量・地盤調査・設計の開始、意見交換会の開催
令和4年 4月	工事や設備導入等の事務手続き開始
6月	条例改正案の提出（江東区夢の島総合運動場条例）
10月	竣工
11月	オープニングイベント開催、一般利用開始

4 意見交換会の実施

利用者ニーズの把握、具体的な整備内容や運営方法、マナー向上の取り組みなどを協議するため、堀米選手関係者や競技関係者、愛好者団体等と意見交換を行う。